

「小さな拠点」の取組事例（徳島県 美馬市 木屋平地区）

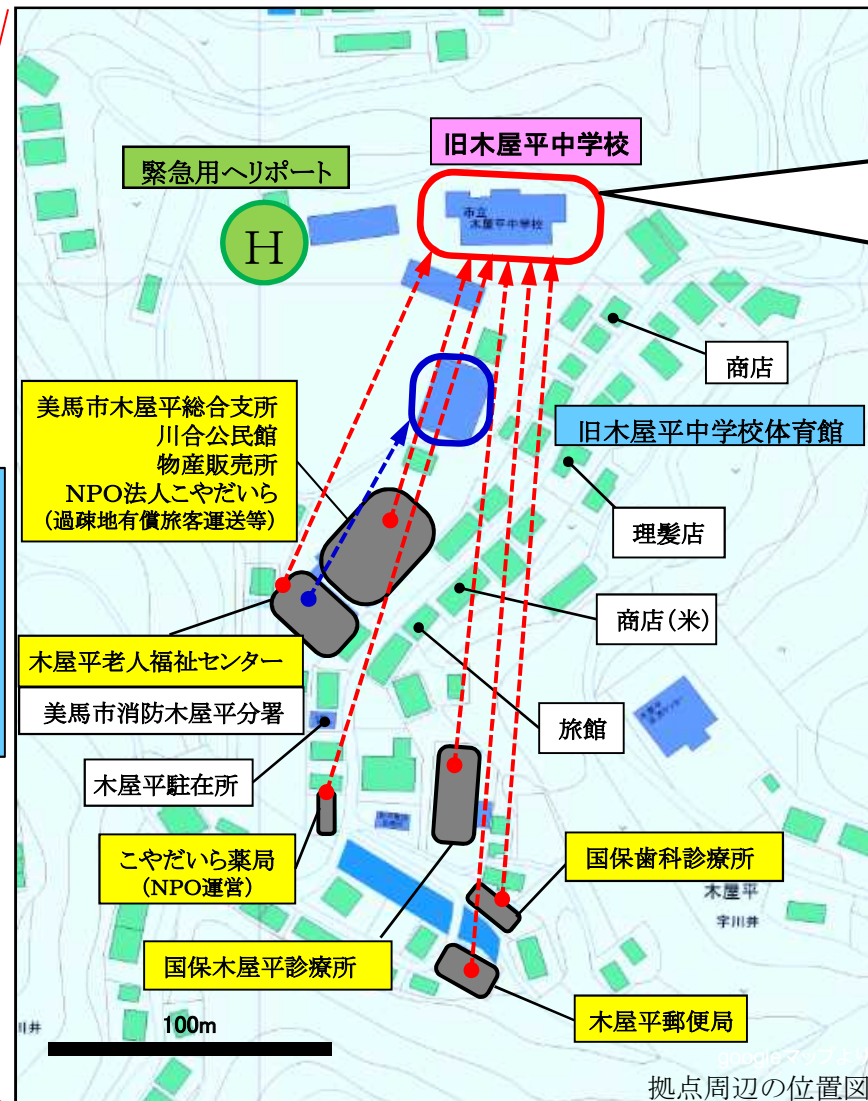
《『「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業』活用事例》

- ・ 高齢化が進む山間部の地域で、**廃校となった中学校を活用し、行政、買物、医療等の日常生活サービス機能を集約。**
- ・ 住民有志により設立したNPO法人が、有償旅客運送による高齢者等の移動サービスや、安否確認、生活相談等の見守り、農林作業の手伝い等の事業を実施。

地域の概要

- ・ 地区人口：715人(402世帯)
高齢化率：58%【H27.7.1 現在】
- ・ 市中心部まで約30km
- ・ 川井、三ツ木、木屋平の3集落
- ・ 合併(H17)前の中心部(役場所在地)であった川井集落に、商店、診療所、郵便局等が立地(支所等の施設は老朽化)

合併後に設立された「NPO法人こやだいら」が、有償旅客運送や高齢者生活支援、農林業作業支援等の事業を実施(黒字運営)



既存公共施設(旧中学校)を活用したサービス拠点の整備



【改修後の施設内容】

- 1階：診療所、薬局、郵便局、直売所(商店機能) 等
- 2階：市総合支所、歯科診療所 等
- 3階：公民館機能(会議室、図書室、調理室)、NPO法人事務室 等
- 体育館地下：消防分署

【事業期間(平成26～28年度)】

○拠点形成に向けた検討経過等
H26.4 中学校機能を木屋平小学校に移転
H27.1 検討委員会(第三者委員会)を開催
→ 住民意見を反映しながら計画検討
H27～28年度 施設改修工事の実施